

湊川相野学園 ニュース

発行:2023年3月

No.

100

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学「学位記授与式」

3月15日(水)、令和4年度学位記授与式が挙行されました。桜のつぼみが芽吹く穏やかな日差しの中、112名の卒業生が湊川短期大学を旅立ちました。華やかな羽織袴やスーツを身にまとった姿は、2年間の学生生活を思い出させるとともに、社会へ旅立つ不安と希望に満ち溢れた輝かしい姿に見えました。

学長は式辞の中で、「これから遭遇するであろう荒波に対してしっかりと舵を取り、力強く乗り越え、大海原を進んでいていただきたいと願っています。感受性をいつまでも豊かに周囲の支えに感謝し、またお互い支え合いながらそれぞれが

精一杯の人生を歩み、自分も人も環境をも輝かせ、それぞれの場でより良い平和な社会を築いていってくれることを心より願ってなりません。卒業生は何物にも代えられない大きな宝である。」と述べられました。

感染症の影響で、思うような学生生活を送ることができなかった学生もいたと思います。そのような悔しい思いや、湊川短期大学で身につけた知識や経験を活かし、羽ばたいてくれることを教職員一同、心から願っています。



三田松聖高等学校

「スピードスケートとショートトラックで世界を目指す 湊上結太さん」

1年生の湊上さんが今季のスケート競技で好成績を取っている。湊上さんは北神戸中学校出身。小学2年の時、ショートトラックの体験教室に参加してスケートの魅力にはまった。「中途半端でやるのではなく本気でやるなら頑張れ」と両親、日々の送迎や遠征を全面的に支援してくれる。同じ神戸市内に住む祖父母宅にもよく訪れる。祖母は栄養を考えた手料理を振る舞ってくれたり新聞記事をスクラップして大切に保管してくれている。現在は週6日、ひょうご西宮アイスアリーナで練習を積み、月2回病院で栄養指導を受ける。

「スケートを始めてから“自分で考える力”と“集中力”が身に付きました。授業中もしっかりと取り組んでいます。あ、時々気づいたらフォームや栄養のことを考えてしまってます(笑)」。教室では、「自分からチャレンジせよ」「もっと高みを目指せ」と言ってくれる担任の初谷先生に大きな影響を受け、「先生をお手本に自分の言葉の力(アピール力)を磨きたい」と考える。来季の目標は、〈ユースオリンピック〉と〈世界ジュニア選手権〉に出場すること。「今よりもっとトレーニング量を増やし世界に負けない選手になりたい」と夢を語ってくれた。



- 1/21・22 第72回全国高等学校スケート競技選手権大会…男子5000m/第2位
- 1/28・29 八戸国体ショートトラック競技……少年男子500m・1000m/第4位
- 2/4 全兵庫ショートトラック選手権……男子1500m・3000m/第1位

湊川短期大学附属キッズポート保育園「生活発表会」

キッズポート保育園の生活発表会は2歳児～5歳児が参加し、劇あそびや合奏等を披露します。去る2月25日に2～4歳児クラス、3月9日に、インフルエンザにより延期になった5歳児クラスの生活発表会を行いました。緊張しながらも生き生きと楽しんで表現する子ども達の姿に、

一段と大きな成長を感じました。また今回、本番はマスクを外して行い、久しぶりに子ども達の顔全体が見え、どの子も笑顔から楽しさがストレートに伝わってくるようでした。

